| フリガナ | コバタ　トオル | | 学部　学科など | 生物資源科学部 農業生産学科 |
|---|---|---|---|---|
| 氏　　名 | **小葉田　亨** | | 職　　名 | 教授 |
| | | | 講　座など | 食糧生産学講座 |
| 専門分野 | ・作物学<br>・作物水分生理学 | その特徴 | イネやムギ、ダイズ、ソバなどの作物の生産限定要因の生態・生理的解明 | |
| 研究テーマ | **・『高温下のイネの登熟予測』**<br>**・『高温・高炭酸ガス条件下の土壌乾燥へのイネとコムギの生産反応』**<br>**・『イネの穂の液体培養を用いた穎花の着生と登熟機能の解明』**<br>**・『水田転作ソバの生産』** | その特徴 | ・乳白米の防止対策の提言と今後の高品質品種の特性予測<br>・温暖化条件下における湿潤アジアと半乾燥地における旱魃下の生産予測<br>・イネで初めて確立された制御実験系でコントロールされた条件下での供給系の影響の解析<br>・気象データによる高品質収穫期予測 | |
| 可能な共同研究・地域連携 | **・テーマ・項目：**イネの品質と環境要因の関係、登熟促進物質の検定<br>**・要望事項：**特になし | | | |
| 可能な科学技術相談 | **・項目：**作物生産、フエーンや高温害、植物生理反応の計測 | | | |
| キーワード | イネ、ムギ、ダイズ、ソバ、土壌乾燥、温暖化、米の品質 | | | |

## ＊　研究のポイント

**近年の夏の気温上昇は夏作物の生産に様々な影響を与えている。乳白等**米の品質低下は全国的にもまた本県下でも深刻な影響を与えている。温度上昇による品質低下の原因を、単に温度と品質という関係のみならず子実の登熟期間の物質生産などとの関係を含めて解析を行っている。**受光条件の改善により乳白米が劇的に減っているこ**とから乳白米の増加が単なる気温の上昇のみではないことを示唆している(図 A)。また、転作作物である地場特産のソバの品質は特にその色に依存する。**緑色のソバは新ソバとして評価が高い。ソバの緑がかった色は気温によって決まっていること**が解った。刈取りまでの気温で適期が判断できる可能性がある(図 B)。

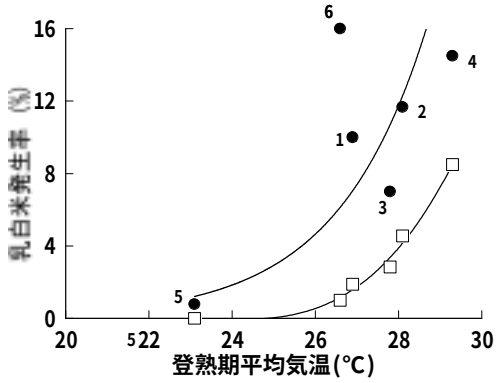


**図** A 1999〜2001 **年にかけて松江(番号** 1〜4)**、赤名**(5)**、大阪府高槻**(6)**で栽培したコシヒカリの乳白米発生率**(●)**と子実成長期に半分に間引いて同化条件を良くした時**(□)**の乳白米発生率の低下**

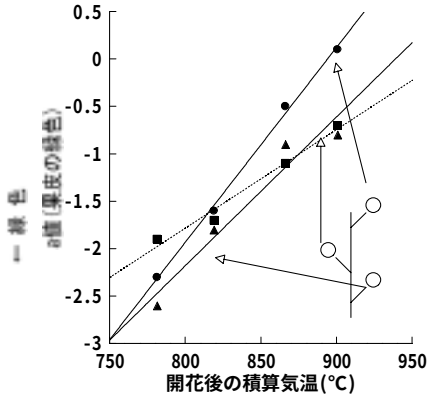


図 B ソバの信濃一号の上、中、下の開花後の果皮の色と積算気温との関係

**連絡先**　Tel　0852-32-6505　Fax　0852-32-6537　E－Mail　kobata@life.shimane-u.ac.jp